

よしかわ 議会だより

NO.171

平成28年11月1日



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
TEL & FAX (982) 9421
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp



いくべ〜よし！川まつり（※8ページに写真説明があります。）

平成27年度決算を認定 平成28年度9月補正予算を可決

9月定例会の概要

9月定例会は、9月2日から9月26日までの25日間にわたり開催されました。

市長提出議案18件は、すべて原案のとおり可決・認定・同意しました。議員提出議案は7件を上程し6件を可決、残る1件については、請願についての趣旨採択案が提出されましたが、否決されました。

また、3日間にわたり行われた、「市政に対する一般質問」では、18人の議員が市政全般にわたり市の見解をたしました。

市長提出議案

平成27年度決算を認定

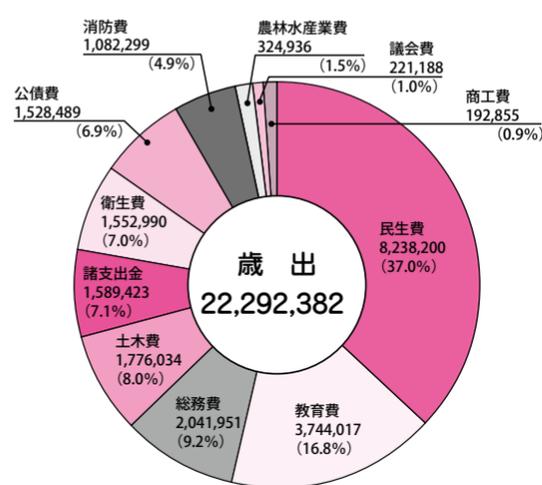
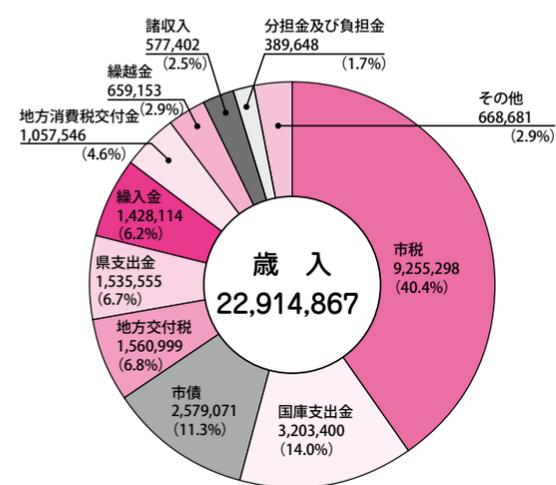
平成27年度一般会計決算における歳入は、前年度比15・5%の増、歳出は、16・2%の増となりました。

特別会計決算、水道事業会計決算は下表のとおりとなります。

今号の主な内容

- ① 平成27年度決算の概要
- ② 一般会計決算に各会派が討論
- ③ 意見書・請願
- ④ 答えて市長！一般質問
- ⑤ 常任委員会の審査から
- ⑥ 審議結果・編集後記

●一般会計決算（単位：千円）



●特別会計決算（単位：千円）

会計別	歳入	歳出
国民健康保険	9,461,999	9,149,199
下水道事業	1,245,082	1,212,374
農業集落排水事業	76,373	74,280
介護保険	3,290,497	3,159,330
後期高齢者医療	444,964	444,420

●水道事業会計決算（単位：千円）

	収入	支出
収益的収入及び支出	1,588,153	1,467,055
資本的収入及び支出	169,940	656,008

* 資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

市長提出議案

次ページへ続く

マチイロ

検索



※無料アプリ「i 広報紙」が「マチイロ」に名称を変更しました。

市長提出議案

前ページから続き

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億4298万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ214億325万4000円となりました。また、平成28年度から31年度を期間とする吉川美南駅東口周辺地区企業誘致活動支援業務委託事業の債務負担行為が、2100万円で定められました。なお、特別会計の補正予算は、下表のとおりとなっております。

●特別会計補正予算

(単位：千円)

会計別	補正額	歳入歳出予算総額
国民健康保険	158,780	8,756,948
介護保険	130,283	3,472,984

一般会計補正予算

こんなことに使われます

保育委託事業

1億6334万円

新設する民間保育所の整備事業に対する補助金の交付等を行います。



窓口電算機管理運営事業

4679万1000円

コンビニエンスストアにおける証明書等の交付サービスを実施するための電算システムを導入します。

環境保全推進事業

262万円

地球温暖化対策に対する取り組みの普及啓発活動を行うためのものです。



吉川市新庁舎建設工事を締結

吉川市新庁舎建設工事（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）について、請負契約を締結します。



吉川市一般職の任期付職員採用等に関する条例

専門的な知識経験を有する者等を採用するため、任期を定めた一般職の職員の採用及び給与に関し、必要な事項を定めます。

人事案件

◆教育委員会委員

9月30日をもって任期満了となる西山祐照氏の後任として、「小林照男氏」が選任されました。

討論

平成27年度一般会計決算に対し、3名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対

日本共産党
吉川市議員団
遠藤 義法

賛成

市民の会・無所属
稲垣 茂行

賛成

公明党
吉川市議員団
五十嵐恵千子

平成27年度一般会計は6億円の赤字であり、身近な生活道路や公園の整備等山積みする市民要望にもっと積極的に応えるべきである。長年要望してきた住宅改修支援事業、橋りょう維持補修事業等の実施は評価する。

民間頼みの待機児童解消策で、入所待ち児童が97人もいる。保育に責任を負う姿勢がない。市と吉川松伏医師会との信頼関係が改善するどころか、溝が深まっている。個別契約で予防接種を受ける保護者の利便性がよくなったのも事実であるが、医師会の理解を得る努力が見受けられない。市民の健康を守る保健行政を支えてきたのも医師会の協力が前提であり、市と両輪だと考える。これからの地域包括システム、防災協定、学校医選任など待ったなしである。

決算では27万円余の公金等の紛失があった。事件が発覚したのは昨年の8月であり、1年間も隠していた。厳格な対応と公金の管理体制の改善策を実施すべきであった。対応が遅く、このまま認めるわけにはいかない。

総合振興計画に沿った事業の進展が見られた一年でした。懸案の、「新庁舎建設」「吉川美南駅東口整備」「中学校建設」は、市長キャラバン等、直接市民との意見交換を通じ見直しが図られ、道筋がつかまりました。

防災では、防災マップの全戸配布や資機材助成等、地域防災力の向上が図られました。治水対策では、共保・高久雨水ポンプ場の機械・電気設備の更新、木売却しの雨水貯留施設整備に着手しました。

子育て支援では、「子ども子育て支援計画」に基づく総合的支援体制が推進され、学童保育は、対象を小学校3年から6年生に拡大。民間保育施設整備では、整備補助で定員増を図り、待機児童の解消に繋がりました。

高齢者福祉では、第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画がスタートし、「健康・体力づくりポイント制度」の導入と県との連携による「毎日一万歩運動」を推進しました。

27年度決算に同意し、賛成討論と致します。

平成26年の消費税率引上げや輸入物価上昇の影響から、景気の回復力に弱さが見られた局面もありましたが、好循環の動きが続く中で、景気は緩やかに回復基調が続いたと認識しています。

このような経済状況の中、当市の平成27年度の当初予算は、義務的経費を中心に骨格予算が上程され、その後、6月補正予算にて政策的経費を織り込んだ予算編成でした。評価する主な特徴は、①プレミアム付き商品券発行事業の実施：30%のプレミアム率で発行総額3億8千90万5千円、換金額3億8千10万5千円、消費誘発額約1億1千万円で大きな経済効果がありました。②リース方式でのLED照明導入：初期投資を抑えながら、電気料金の削減や低酸素社会への貢献等を一気に推進。③乳がんの受診の拡充：希望者が予定の定員を超えている事態に、補正予算にて直ぐに対応。このように国や県からの交付金や補助金を活用した事業の展開を評価しつつ、今後も市民中心の市政運営に期待し賛成討論と致します。



議員提出議案

意見書

今定例会では、5件を上程し、いずれも可決、内閣総理大臣等へ送付しました。(一部抜粋)

無年金者対策の推進を求め る意見書

年金の受給資格期間の短縮は、無年金者対策の観点及び将来の無年金者の発生を抑制していく観点から、2012年2月に閣議決定された「社会保障・税一体改革大綱」に明記されたものである。よって政府においては、必要な財源の確保を含め、安心の社会保障の実現を図るため、早急に下記の事項について取り組むことを強く求める。

障がい者の命と尊厳を守り障 害者施設の安全確保を求める 意見書

相模原市の県立津久井やまゆり園において、死者19名を含む46名の方が元施設職員に殺傷されるという、大変痛ましい事件が発生しました。障がい者の方達の暮らしのよりどころとなっ

ている施設に於いて、無抵抗の多くの方々の命を奪った残虐で卑劣な行為は断じて許されるものではありません。

よって、国に於かれましては、このような悲惨な事件が二度と繰り返されることのないよう左記について強く要望いたします。

他1項目

介護保険制度のサービス縮 小を行わないことを求める 意見書

高齢者の自立した生活を支援し、要介護状態の重度化を防ぐという介護保険の理念に基づき、また、家族の「介護離職ゼロ」を実現するためにも、介護保険制度のサービス縮小を行わないよう強く求めます。

1 要介護1・2の生活援助サービスは、現行通り、介護保険給付の対象とし、市町村の地域支援事業へ移行しないこと。あわせて、現在、地域支援事業に移行が進められている要支援1・2の生活援助サービスの状況を把握し、高齢者が安全、安心に暮らせるよう改善を図ること。 他2項目

本採用教員の増員を求める 意見書

教育を取り巻く環境は複雑、困難化しており、いじめや不登校、障がいのある児童・生徒への対応、教育格差の解消等、教職員に求められる役割は大幅に

拡大しております。しかし、1年だけの契約で配置されている「臨時的任用教員」が教員の定数内で増加しており、不安定な雇用形態は、問題解決をより困難にさせます。よって、埼玉県及び埼玉県教育委員会の責任で定数内の本採用教員を大幅に増員されるよう強く求めます。

学費引き下げと給付制奨学 金の導入を求める意見書

日本は2012年に高校・大学の段階的な学費無償化を定めた国際人権規約の批准留保を撤回しました。経済協力開発機構加盟34カ国中、17カ国は大学授業料を無償化し、給付制奨学金導入は32カ国まで広がっています。どちらもないのは日本だけであり、学費無償化と給付制奨学金導入は世界の流れとなつて

議会活性化調査特別委員会

より市民に開かれた議会を目指し、議会の活性化を推進するための調査検討を行うため「議会活性化調査特別委員会」を設置しました。

- 委員長 遠藤 義法
- 副委員長 戸田 馨
- 委員 岩田 京子
- 五十嵐恵千子
- 吉川 敏幸
- 稲葉 剛治
- 互 金次郎

請願

今定例会では、1件の請願が提出され、審査の結果、採択となりました。

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、吉川市の子どもの健康を支えるための検診助成についてのお願いに関する請願

請願者 大武 智恵
紹介議員 岩田 京子
小林 昭子

事故から五年半が経過し、福島では甲状腺がんの発症率が事故前の百万人に三人から、県民健康調査では三千人に一人、地域別によっては数十倍の多発がみられている。政府は原発事故が原因とは考えにくいと見解を述べているが、甲状腺がんはチエルノブイリでも唯一事故由来を認められた疾患である。

吉川市にも放射能が飛散し、多くの市民が被曝をしたことは事実で、市民および子ども達の健康影響が心配されるところだ。吉川市として子ども達の健全な健康を見守り、今後の保健事業にかさすよう、甲状腺のエコー検査費用の助成の実施と、その検査結果の把握を願いたい。

懲罰特別委員会を設置

◆稲垣茂行議員に陳謝処分◆

9月21日(水)本会議中、稲垣議員の市政に対する一般質問中の発言について、中嶋議員他2名から地方自治法第135条第2項及び会議規則第160条の規定により、「稲垣茂行議員に対する懲罰動議」が提出されました。

懲罰特別委員会の設置が決定し、各会派から選出した委員により、ただちに懲罰特別委員会が開かれ、地方自治法第135条の懲罰のうち、採決の結果、陳謝と出席停止が同数となり、委員長裁決により、陳謝の懲罰を科すことに決定しました。

会議再開後、降旗懲罰特別委員長からの委員長報告が行われ、採決の結果、稲垣議員を除く賛成全員で、陳謝の懲罰を科すことを決定し、稲垣議員は左記の内容の陳謝文を読み上げました。

先ほどの市政に対する一般質問の「公金紛失」の再質問発言中、警察へ被害届を提出し、捜査中にもかかわらず不穏当な発言をしたことについては、議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責に顧みて、まことに申し訳ありません。深くお詫びいたします。ここに反省し、誠意を披瀝して衷心より陳謝いたします。今後、このようなことの無いよう努めます。

△地方自治法▽

「品位の保持」
第百三十二条 普通地方公共団体の議会の会議又は委員会においては、議員は、無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならない。
【懲罰理由】
第百三十四条 普通地方公共団体の議会は、この法律並びに会議規則及び委員会に関する条例に違反した議員に対し、議決により懲罰を科することができる。

②懲罰に関し必要な事項は、会議規則中にこれを定めなければならない。
【懲罰の種類及び除名の手続】
第百三十五条 懲罰は、左の通りとする。
一、公開の議場における戒告
二、公開の議場における陳謝
三、一定期間の出席停止
四、除名

③第一項第四号の除名については、当該地方公共団体の議会の議員の三分の二以上の者が出席し、その四分の三以上の者が同意しなければならない。

△吉川市議会会議規則▽

第百五十一条 議員は、議会の品位を重んじなければならない。
第百六十条 懲罰の動議は、文書をもって所定数の発議者が連署して、議長に提出しなければならない。
2 前項の動議は、懲罰事犯があった日から起算して三日以内に提出しなければならない。ただし、第四十九条(秘密の保持)第二項又は第百十三條(秘密の保持)第二項の規定の違反に係るものについては、この限りではない。



答えて市長！

一般質問

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。
会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は12月上旬となる予定です。

市内公共交通システムの進捗状況について

戸田 馨

問 市は様々な自治体へ公共交通について視察を行っているが、それらを踏まえた市の公共交通システムの方向性を伺う。
答 政策室長 地域の特徴やニーズの集約を踏まえ、市民にとって利便性の高い公共交通網の構築に向けスピード感をもって取り組んでいるところである。

◆中小企業振興について

問 市は3月議会で「商工農まて含めた経済振興という広い観点での条例制定を調査検討する」との見解を示したが進捗状況は。
答 市民生活部長 市と事業者との連携により地域産業活性化のための産業振興条例として制定したい。条例の制定にとどまらず、実効性のある具体的な施策の展開まで可能な連携をはかりたい。

◆教育大綱策定について
問 今年度策定される「教育大綱」の方向性を伺う。
答 市長 「立志」「郷土愛」「未来を切り開く力」をキーワードに、一文で吉川市の教育方針がわかるような教育大綱を策定してゆ

きたいと考えている。

「公金等の紛失」問題の経緯と再発防止対策は

稲垣 茂行

問 紛失・盗難事故の経緯は
答 会計管理者 平成27年8月18日朝、会計課内の手提げ金庫に保管していた20万円の紛失が発覚。また、6月から翌28年3月の間に計4回、合計75267円が紛失しました。

これまで、内部調査等原因究明に努めて参りましたが、特定することが出来ませんでした。盗難の可能性が高い2件について、今年の8月10日、吉川警察署へ被害届を提出しました。
答 教育部長 平成25年6月又は7月頃、スポーツ振興課でクオカード79500円、翌26年10月頃に3万円及び27年3月頃に3万円が所在不明となりました。

管理体制及び再発防止への取組みは
答 会計管理者 事件発覚後は、2名体制でチェックを行い、新たに「吉川市金銭取扱い規定」を策定。つり銭の保管方法や報告を厳格化しています。
答 教育部長 現金等の確認、保

商業活性化事業について

中嶋 通治

問 「カスミ」が閉店するとの事であるがその状況と対策は。
答 市民生活部長 情報収集に努めるとともに、近隣住民の利便性が図れる企業の誘致に努める。

問 高齢者が自由に買物に行けなくなると、十分な食料品を購入できなくなり、毎日の食生活に栄養が偏り、健康に害を及ぼす、弱者の身になり考えて欲しい。
答 市長 道路が完成すれば場所の魅力が高まる。ネオポリスのみでなく三輪野江の人も利用していたので常にアンテナをはっていく。

駅前空き店舗が出来てしまいう状況は周辺が寂れ、市全体が衰退していくと思われるが、駅前における商業のあり方をどのように考えているのか。
答 市民生活部長 市のイメージダウンにつながり、賑わい創出

管が不十分だった。今後は、常時施設をしてい場所の保管し、所属長の承認を得て取り扱うこととしました。

の他にも活性化が必要。今後商業の核として、あり方も含め支援策について協議する。
◆深井新田の道路整備について
答 都市建設部長 整備の要望を受けている。道路後退に協力頂ければ意向を確認し整備する。

子どもの貧困と今後の対策

林 美希

問 子どもの貧困は、重要視して各自自治体の実情にあった対策をとるべき大きな社会問題。吉川市の対策は。
答 健康福祉部長 子どもの貧困問題庁内連絡会議を設置した。関係施策の一覧作成、他の窓口から子育て支援課へ繋ぐよう徹底する等、関係各部署で相互に連携していく。

問 実情を把握するためアンケート実施等の予定は。
答 健康福祉部長 実情把握の重要性は認識している。他団体のアンケート内容を研究中。
問 子どもの貧困と女性の貧困の問題は切り離せない。吉川市第三次男女共同参画基本計画に位置づけられる予定はあるか。
答 健康福祉部長 男女共同参画

の視点から整理をして必要な事業については検討していく。
◆無電柱化に対する市の考えは。
答 都市建設部長 有効なまちづくりの手段として認識しているが、用地・空間の確保と財政負担が大きいことが課題。吉川美南駅東口開発において一部実施していく。

前期計画の目標達成60% 第5次総合振興計画で

降旗 聡

問 第5次総合振興計画・前期基本計画が最終年度を迎え、後期基本計画の策定に入る。
そこで、第5次総振・前期基本計画について、現時点における目標値の達成度と今後の課題、後期基本計画策定に向けた意気込みについて市の見解を。
答 政策室長 第5次総合振興計画は、「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」を将来都市像とし、まちづくりの基本理念や目標などの基本構想を定めており、基本構想を実現するための前半5年間の計画として前期基本計画を策定している。

前期基本計画では、計画の達成状況を測るために63の指標を測っている。平成27年度の施策評価では、63指標中38指標が目標達成もしくは達成に向けて推移している。進捗度は約60%。
現在、策定を進めている後期基本計画は、総合振興計画の後

半5年間の大変重要な計画である。前期基本計画の進捗状況や時勢の潮流を踏まえるとともに、より多くの市民の意見を聞きながら、計画を取りまとめっていく。

「コミュニケーション支援ポイント」とヘルプマーク導入を

五十嵐 恵千子

問 災害時や日常の中でコミュニケーションを取ることで困難な障がい者が意思を表示できるよう、意思確認や要望の内容を絵カードにし、それを指し示す事で意思の確認が出来る事業を。
答 健康福祉部長 コミュニケーション支援ポイントは導入を検討。ヘルプマークは実施に向け準備中。
◆子どもの居場所づくり拡充を
問 当市で実施されている事業の現状と課題、児童館の充実を。
答 健康福祉部長 「子どもの体験活動」は実行委員の人材発掘・育成に努める。「地域寺子屋」は事業を周知し実施地域が増えるよう働きかける。「放課後子ども教室」は学校施設の使用や子どもの安否確認など課題はあるが、実施に向け検討する。

問 公園も一体として力を入れ北部からも行きたくなくなるような児童館となるよう検討する。
◆女性が更に活躍できる吉川に
問 子育て世代包括支援センター・不妊治療・ひとり親家庭自立支援・女性健康増進を計画へ。
答 市民生活部長 検討していく。

問 駅前空き店舗が出来てしまいう状況は周辺が寂れ、市全体が衰退していくと思われるが、駅前における商業のあり方をどのように考えているのか。
答 市民生活部長 市のイメージダウンにつながり、賑わい創出

の視点から整理をして必要な事業については検討していく。
◆無電柱化に対する市の考えは。
答 都市建設部長 有効なまちづくりの手段として認識しているが、用地・空間の確保と財政負担が大きいことが課題。吉川美南駅東口開発において一部実施していく。

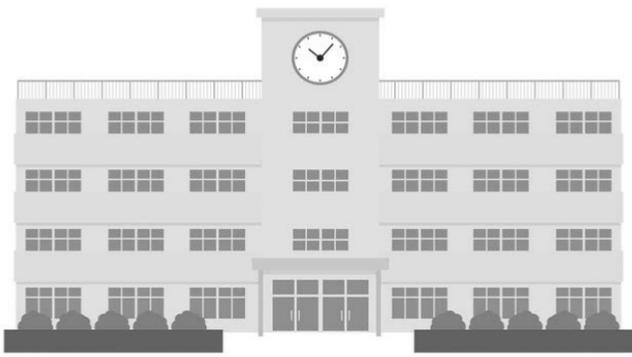


小中学校の普通教室への エアコン設置について

小野 潔

問 大規模改修に合わせてでは
いつ設置になるかわからない。
東中と仮称第4中と中学校が
先で小学校が後では、学校間格
差が生じてしまう。市の見解は。
越谷市は来年、市長の決断で
45校PFI方式で一斉導入する。
当市で考えた時の事業費の概算
は。

答 教育部長 東中、仮称第4中
後は第5次総合振興計画に位置
付け、トイレの洋式化を含め検
討する。当市11校のPFI方式
の概算は9億6千万円。



◆みらいステップアップ助成金
問 越谷市では個人・団体から
の寄付を基金化している。基金
化への考えは。ふるさと納税の

寄付選択事業化していく考えは。
答 市民生活部長 関係部局と調
整し今後検討していく。
問 第10次交通安全計画5年間
での自転車レーンの考え、免許
証の自主返納の特典化は。

答 都市建設部長 レーンはガイ
ドライン変更につき検討。
答 市民生活部長 商工会のラッ
ピーカードやタクシー割引券を
含め、何ができるかを検討。

医師会から市長宛てに届い た質問書の今後の対応は

加藤 克明

問 市長宛てに届いた質問書が
我々議員のもとにも届いた。今
まで市長が答弁してきた内容と
医師会の質問書内容に、かなり
認識の相違があるが、いつまで
に回答するのか。

答 市長 9月中の回答を望む旨
聞いている。できしだい早く回
答していきたい。

問 学校医などの問題もあり、
議会としても非常に関心がある。
医師会の同意を得た上で、議会
に報告して頂きたい。

答 市長 回答を今後クローズに
する必要はない。必要があれば、
公表していく。

問 なぜ、医師会問題などが起
きたのか。医師会の同意を得た
上で、回答を市民へ周知すべき
と考えるが如何か。

答 公開の方法は、具体的にま
だ考えていない。必要があれば
協議していく。

避難者カード策定 に関して

稲葉 剛治

問 避難所運営において、避難
者の数や状況の把握や要配慮者
へのきめ細やかな支援を目的と
して、災害時に避難所の受付で
作成する「避難者カード」を作
成することが望ましい。吉川市
の避難者カードの策定状況、カ
ードのチェック項目、内容につ
いて伺う。

答 市民生活部長 市職員が活用
する「災害発生時の市職員初動
マニュアル」に様式を掲載して
いる。チェック項目、内容につ
いては現在住所、氏名、続柄、
性別、その他の特記事項を記入
するための備考欄となっている。



問 今後の避難者カード策定に
関して。また、要配慮者に対す
る項目を追加したカードの作成
をしてはと考えるが如何か。

答 市民生活部長 配慮事項の検
討など避難者カードの見直しを
行い、平成28年度中に作成を行
う避難所運営マニュアルに反映
出来るように進めていく。

美南地区の小学校・中学校 について

濱田 美弥

問 美南小学校の校庭にプレハ
ブが建つ予定との事だが他の場
所の検討は。また来年度の不足
教室を多目的室などを改装して
利用するとの事だが少人数の授
業への影響は無いのか。

答 教育部長 他の候補地は無い。
少人数教室については現在学童
で使用の中の一階多目的室など
を使う予定。

問 仮称第四中学校の敷地につ
いて、南中学校より狭く用途制
限のある土地との事で、開校時
は六四二名、ピークの平成四〇
年には一〇二名との事だがプレ
ハブが必要になったり、グラ
ウンドが狭くなるのではないか。

答 教育部長 多くなる事を見越
して有効活用出来る様な設計を
していくのでプレハブは今のと
ころ必要ないと考える。県への
申請により緩和可能と思われる。

◆南中学校への自転車通学者の
安全対策を

問 現在三三五台の自転車が登
下校。新中学開校前には何台に。
答 都市建設部長 平成三二年に
は五三七台になる見通し。道幅
を広げたり対応は難しいが引
き続き研究していく。

公立保育園に正規保育士 を増やすべき

小林 昭子

問 待機児童の問題はややもす
ると子どもたちの発達障害が後
ろに追いやられかねない。吉川
市は吉川の公立保育園の保育を
継承すべきだ。なぜ公立の正規
保育士を減らし続けるのか。吉
川市の公立保育園の臨時職員の
割合は平成26年正規職29人に
対し臨時職13人、平成27年は正規
職28人に対し臨時職19人、平成
28年は正規職20人に対し臨時職
24人と増え続けている。正規保
育士の雇用を。

答 健康福祉部長 今後の保育運
営は基本的に民間にお願いして
いきたいと考えているので正職
の保育士採用は行っていない。
市「財政改革大綱策定」で公立
保育園については外部委託で検
討が決まっている。公立のまま
廃止して民間に任せるのかは検
討していないし決定していない。

◆平和事業を子ども達の世代に
問 今年市の平和事業は平和バ
スの他被爆体験講話等充実を図
った。更に子ども達の参加を。
答 市民生活部長 若者・子供達
へ周知方法を検討してゆきたい。

美南小学校の大規模校化 への対策を急げ

佐藤 清治

問 児童が最大1400名とい
うのはあまりにも多い、早く学
区の見直しをすべきでは。
答 教育長 平成30年度で932
名という児童数でほぼ横ばいと
いう見直し。学区の見直しも、
もしかしたら考えなくてはいい
ないという事になるかと思う。

◆仮第4中学校について
問 開校時の生徒の見直しとそ
の後の推移について予測は。
答 教育部長 開校時の生徒数は
640名と想定している。
平成38年度の生徒数は1000
0名を超えると見込んでいる。

問 プレハブについては想定し
ていないと確認していいか。
答 教育部長 現時点では考えて
いない。
◆小中学校のエアコン設置・ト
イレの洋式化を早急に。
問 具体的な計画を示すべき。
答 教育部長 東中学校・仮称第
4中学校についてはエアコン設
置・トイレの洋式化の予定で設
計をおこなっている。今後の計
画については第5期の後期基本
計画に位置付けていく。

答えて市長！一般質問

次ページへ続く

答えて市長！一般質問

前ページからの続き

吉川市の保健事業

について

吉川 敏幸

◆吉川美南駅周辺地区都市区画整理事業について
 (問) 並木道や公園を建設予定。昨年度の公園維持管理事業費は3億円超え。年々増加傾向にある。人口が減少する長期的な視野に立ち、費用抑制的な計画を。
 (答) 都市建設部長 景観等、総合的に考えていきたい。

◆公金紛失事件。会計課内の防犯カメラ設置は人権侵害では。
 (答) 副市長 施設管理権があり、適切な対応だと考えている。

水道石綿セメント管の

早急な布設替えについて

岩田 京子

(問) 近年マンションでの直結増圧式ポンプの導入が進んでいるが、吉川でできない理由は。
 (答) 水道課長 水圧や流量の変化に伴って石綿管に負荷がかかり漏水が予測されるため、石綿管の布設替えが終わるまで難しい。

(問) 石綿管の残存量は。
 (答) 水道課長 平成27年度末9.2%30km残っている。

(問) 全国1496自治体の中で、ワースト32(平成25年度末)。

石綿管は極めて脆く、災害時の被害が突出して大きいと厚労省の報告にある。石綿管はいわゆるアスベストで、破損事故後の作業に困難が伴うのでは。
 (答) 水道課長 通常作業の中で切断等はないが、災害復旧時は飛散防止に努めることになる。

(問) 約2kmずつ15年の計画は早められないのか。
 (答) 水道課長 償還金ピークが平成29年。それ以降にお金がかける。

◆小規模雨水タンクについて
 (問) 温暖化防止、治水への参加にもなるが、導入の予定は。
 (答) 都市建設部長 検討を進める。

乳がん検診対象年齢を30歳から

とするべきでは

雪田 きよみ

(問) 全国の3分の1以上の自治体、埼玉県でも10市9町が40歳未満の乳がん検診に取り組んでいる。吉川市でも検診対象を30歳からとするべきでは。『有効性評価に基づくがん検診ガイドライン』では、若い女性のがん検診を否定していない。先進自治体に学び、柔軟に対応していただきたい。

(答) 健康福祉部長 吉川市では国の「対策型検診」という指針に基づき検診を実施している。若い方への対応として、乳がんの知識と自己検診の重要性を周知していきたい。

◆介護予防総合事業は、現行通りのサービス提供を主体に。

(問) 来年4月から始まる総合事業は、安易に要支援と認定されるリスクや、基準を緩和したサービス等による支援で、重症化が懸念される。現行通りのサービスを主体に実施すべき。
 (答) 健康福祉部長 要支援と認定されても、地域包括ケアマネが関わり、認定が妥当性かどうかは検討する。開始されても既存の事業所は残る。

あらゆる災害への

備え強めて

遠藤 義法

(問) 自然災害への備えのため①中川、江戸川堤防整備事業の進捗状況と実効性は。②家屋倒壊を防ぐ施策は。③豪雨災害、河川の堤防決壊時の市民誘導の方策は。④ガス関係や医療関係など民間団体との防災協定締結の進捗は。

(答) 都市建設部長 ①中川の拡幅により流域能力は1.8倍になる。江戸川堤防下の用地買収は9割。工事は5割である。工期は不明。②まず無料家屋診断を受けるよう啓発に取り組んでいる。③市民生活部長 ③堤防決壊時は、避難場所の2階以上に誘導する。防災意識の向上を図る。

④関係企業と協議はしている。
 (答) 健康福祉部長 吉川松伏医師会へ協定の申し入れはしていない。市運営への協力が先決。

◆公共交通網整備のために
 (問) 実現にむけて現在までの進捗状況と今後の取り組みは。
 (答) 政策室長 先進自治体を視察してきた。吉川市の実情から、コミュニティバス、デマンド型タクシーなどが考えられる。スピード感をもって実施する。



歩道の根上りのようす

新庁舎 仕上げに向け

万全を尽くせ!

伊藤 正勝

(問) 新庁舎建設は受注業者との本契約締結。きよみ野への移転を決定する位置条例を可決。今後のスケジュールと課題について伺いたい。

(答) 総務部長 本契約後にまず工事管理の業務委託を発注。建設現場では仮囲い。現場事務所設置。10月中旬に工事説明会。下旬には着工の運び。30年5月の連休引越しを予定。

(問) 内装や備品。外周整備。市民開放スペースの利用基準づくりにしても伺いたい。
 (答) 総務部長 間仕切りのないオープンな空間。電源や各配線は床下に。今の備品を活用しその他必要な物は29年度予算に計上。南側は住宅に配慮した生垣。東側は緑化フェンス。バス停は敷地内に道路を拡幅し設置。市民への開放は2、3階の会議室や1階の多目的スペース等を計画。主に平日の夜間や祝休日。使用基準は29年度中に整備したい。

日本一明るく灯火によるあかり

で創る安心・安全な街吉川市

齋藤 詔治

(問) 防犯灯の設置に対する市の積極性は。市現在の道路照明灯(防犯灯)の総数、新設要望の数並びに平成26年度に多くの道路照明灯がLED照明灯に切り替えた事による1年間の光熱費と修繕料の削減効果は。
 (答) 市民生活部長 防犯の観点からも引き続き明るく・安心・安全なまちづくりを推進して参ります。27年度末の東京電力との契約個数は、6673灯。市民からの設置要望は50灯。80ワット以下5410灯を、LED化した削減効果は金1092万6千円になります。

(問) 市民要望にその都度対応するので無く、全市を明るくする為の協議会の設置の検討は。
 (答) 市民生活部長 LED化は大変効果があり、市の財源にも良く、庁内に意思統一を図りながら、その中で多くの方達と一緒に協力を創って行くと言った事も視野に入れながら検討して参ります。

※一般質問「吉川消防署救急隊員暴行事件に関する再調査を」の通告は取り下げました。



常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。

主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

監査委員事務局としては今年6月市長からの監査依頼で初めて分かった。防犯カメラの件は総務部長としては聞いていない。市ホームページの運営管理。検索しやすく工夫しては。ホームページの契約が平成30年に満了。その際に検討したい。パブリシティ事業については各課の情報が集まるようになり、提供件数が伸びている。今年度からテレ玉、データ放送にも掲載している。

賛成多数で認定

◆吉川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例

採用の具体的内容、業務内容は。退職自衛官1名の採用を予定。防災業務における指揮命令、マニュアル等の見直し、災害発生時の市長や関係機関等との調整である。一般職員と同じく課の中に入って業務にあたる。今回の5年間の有効性を検討し、その上で必要であれば採用する。

賛成多数で可決

◆文教福祉常任委員会

◆学校給食センター整備運営事業契約の変更契約の締結について

基準金利が高い。契約の見直しは出来ないのか。難しいと認識しているが、事業者へ、働きかけを行う。

賛成全員で可決

4回にわたる公金紛失の経過。監視カメラ設置はいつ誰の指示か。去年8月に20万円の紛失発覚。2日後に市長、副市長に報告。その他の紛失についてもいづれも報告している。監視カメラの設置は会計課には事前の相談はなく、先月の市長記者会見の発表で知った。会計管理者としてチェック体制の甘さを認識。深くお詫びしたい。

◆平成28年度一般会計補正予算

美南小学校の教室不足について。平成31年度でも1200人、37教室が必要となる。学区変更も含め、早めの対策、結論付けが必要と考えるが。

賛成多数で可決

◆平成28年度介護保険特別会計補正予算

介護認定審査が遅れていると聞いている。その影響で居宅サービス利用控えや自費によるケアマネからの問合せはあるが自費による相談はない。

賛成全員で可決

◆平成27年度一般会計決算

平成25年度以降の児童虐待件数と増加要因は。平成25年度53件、26年62件、27年は105件で、夫婦げんかやDVの目撃等による心理的虐待が要因。

「待機児童ゼロ」は、「隠れ待機児童」をゼロにすることか。待機児童数は、国の基準によるもの。28年度4月で30人。

賛成多数で認定

◆平成27年度国民健康保険特別会計決算

均等割額が近隣市と比べ高い。繰り入れの見直しは出来ないか。近隣市と比較しても、平均的

な課税額と考えている。一般会計からの繰り入れは、保険者以外の市民の税金を含んでおり、単純に増額することは出来ない。

賛成多数で認定

◆建設生活常任委員会

◆平成27年度一般会計決算 防犯灯整備事業（LED化の推進・増設）について。

現在の予算では、要望に添えるので精一杯である。面（ゾーン）としての防犯灯整備については効果や他市の事例など調査研究していく。可燃ごみ収集運搬事業・収集時間短縮等について。午前中に収集を終わらせるために、収集車を1台増やすには、正確な推計ではないが、現在の委託料と台数から考えると1台2000万円ほどと思われる。また、東埼玉資源環境組合への搬入状況を考えると、0.5台増車できれば午前中に収集が終わるような日も増える。

認定農業者育成事業・後継者（若者）育成等について。市内の農業後継者など若い農業者が経営拡大など希望する際、制度の説明を行い、認定を勧めていきたい。また、認定農業者支援対策事業費補助金について、機械購入は最低100万円としている。この額の引き下げについて検討しているが、財政部局との調整が必要と考えている。

道路維持補修事業・除草委託料等について。

年2〜4回除草しており、1回当たり1か月かけて市内全域を実施。なお、その間に草が伸びるところは、職員により実施。年2回刈りを3回にした場合、平成27年度決算で委託料は1200万円だが、1.5倍程度かかる。水路脇などコンクリートで対応したこともある。防草シートについて今後検討していく。

賛成多数で認定

◆平成28年度一般会計補正予算

越谷吉川線の整備について。吉川中央土地区画整理事業では、工事について平成30年度の完成を目標としている。

賛成多数で可決

ホームページ

ぜひ、ご覧下さい！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。



議会を傍聴しませんか？ 次定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

11月30日（水）	本会議【開会日】
12月2日（金）	本会議【議案審議】
12月5日（月）	委員会【総務水道・建設生活】
12月6日（火）	委員会【文教福祉】
12月7日（水）	委員会【請願審査】
12月9日（金）	本会議【委員長報告】
12月12日（月）	本会議【一般質問】
12月13日（火）	本会議【一般質問】
12月14日（水）	本会議【一般質問・閉会日】

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。

9月定例会 審議結果

《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、議=議長（議決には加わりません）、◎=議案提出者

議案名	議決結果	市民の会・無所属							自民・みらい			共産			公明						
		濱田美弥	林美希	岩田京子	稲葉剛治	戸田馨	降旗聡	伊藤正勝	稲垣茂行	齋藤詔治	吉川敏幸	加藤克明	中嶋通治	松崎誠	遠藤義法	雪田きよみ	佐藤清治	小林昭子	五十嵐恵千子	小野潔	互金次郎
吉川市役所位置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
市道の路線認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
吉川市学校給食センター整備運営事業契約の変更契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成27年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成27年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成27年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成27年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成27年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成27年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成27年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議
平成28年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結について（吉川市新庁舎建設工事〈建築工事〉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結について（吉川市新庁舎建設工事〈電気設備工事〉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結について（吉川市新庁舎建設工事〈機械設備工事〉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《議員提出議案》

無年金者対策の推進を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議
障がい者の命と尊厳を守り障害者施設の安全確保を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	議
介護保険制度のサービス縮小を行わないことを求める意見書	原案可決	◎	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	議
本採用教員の増員を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	議
学費引き下げと給付制奨学金の導入を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	議
議会活性化調査特別委員会設置に関する決議	原案可決	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、吉川市の子ども達の健康を支えるための検診助成についてのお願いに関する請願に対する趣旨採択 ※2	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	◎	○	議	

《請願》

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、吉川市の子ども達の健康を支えるための検診助成についてのお願いに関する請願 ※1	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	議
--	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」の略です。

** ※2は※1についての趣旨採択です。

（趣旨採択とは、請願の願意については十分に理解できるが、財政事情等から実現する確信が持てない場合等に、その趣旨には賛成であるという意味の議決です。）

編集後記

議会広報をお読みいただきありがとうございます。9月議会は9月2日から26日まで開かれました。台風や大雨の季節と重なり、特に近年は温暖化の影響で異常気象の風水害が懸念され、吉川市も、市民も緊張する季節でもあります。吉川市は今年も大きな影響を受ける事はありませんでしたが、こういう時こそしっかりと防災、減災対策をすすめる事が大事です。市民のみな様にとっても関心の高い問題であり、議会でも闊達な質疑討論がされたところです。議会最終日には、新庁舎工事請負契約の締結が可決され、いよいよ市民の防災センターの拠点ともなる新庁舎の工事が着工します。小林 昭子

◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお待ちしています。

〒342-8501
吉川市吉川二丁目1番地1
吉川市役所 議会事務局
FAX (982) 9421

表紙の写真



川とともに栄えた歴史を振り返り、川に親しむことを目的として、市制施行20周年記念事業「いくべりよし！川まつり」が開催されました。当日は、台風の影響で中川の水位があがっており、開催が危ぶまれましたが、無事開催することができました。会場では、江戸時代から吉川と江戸との物流を担った高瀬舟を再現し、市の特産品である日本酒「なまず御膳」や吉川産米「吉川のしずく」、吉川ねぎなどを積み込んだ「吉川宝船」が出航しました。